

第6回ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞

学校名	宮城県工業高等学校 (宮城県仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2番1号)
校長名	おおうち えいこう 大内 栄幸

案件の概要

(学校のものづくり人材育成に向けた特色ある取組)

○みやぎクラフトマン21事業、ものづくり
マイスター制度を活用した取組

一般企業等と協力関係を築き、「現代の
名工」の肩書を持つ高度熟練技能者等
による技術指導や講習会を開催。毎年
40程度のプログラムを実践し、次代へ
つなぐべき「技や志の伝承」の場を作り
出している。



高度熟練技能者による技術指導

○技能五輪選手となった卒業生による後輩
への実技講習会及び講演会

技能五輪世界大会メダリスト達が世界大
会へ出場する際に訓練した内容を校内
で実際に行い、技術・技能だけでなくチ
ームワークや「ものづくり」の素晴らしさを伝
える機会としている。



U-20プログラミングコンテスト
経済産業大臣賞受賞 アプリ開発中の生徒

(取組を通して得られた具体的な成果)

○若年者ものづくり競技大会
厚生労働大臣表彰4回受賞(H21より)
○U-20プログラミングコンテスト
経済産業大臣表彰3年連続受賞
○卒業生のべ14人が技能五輪選手として
全国大会へ出場し、うち4人が世界大会へ
出場



若年者ものづくり競技大会

(H25,26は在校生も全国大会に出場) 等

旋盤作業部門 厚生労働大臣賞受賞

第6回ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞

学校名	すみたちょうりつ せたまい 住田町立世田米中学校 (岩手県気仙郡住田町世田米字大崎72-1)
校長名	まつたか まさとし 松高 正俊

案件の概要

(学校のものづくり人材育成に向けた特色ある取組)

森林・林業日本一の町づくりを目指している住田町にある中学校として、関係機関と連携して、ものづくり(木工作品)の実践的な技術の向上を図る教育活動を展開している。

○特設木工部の取組

全校生徒から希望者を募って部員を決定し、全国児童・生徒木工工作コンクールに向けた作品製作に取り組むなど、木工製作技術の向上を図っており、それが将来の職業意識の向上にもつながっている。

○木工工作コンクールへの取組

全校生徒が住田町の木工工作コンクールに参加し、木工作品を製作することで手先の技術を身に付け、「木材」や「林業」の重要性を感じる機会となっている。

○住田町教育委員会と連携した森林環境学習の推進

「自然と遊び、自然から学び、森林と人間の共生の在り方を考えること」をねらいとした「森林環境学習」に取り組み、林業の保護や持続可能な社会の構築等について学習を深めている。

(取組を通して得られた具体的な成果)

「全国児童・生徒木工工作コンクール」

文部科学大臣表彰1回

農林水産大臣表彰14回

林野庁長官表彰4回 受賞 等



生徒の木工作品「鮭」



森林環境学習の様子
(間伐体験)



木材加工工場の見学